

# 第1回水道料金等検討委員会 資料

令和元年6月28日

上下水道課



# 水道事業の現状について

- あわら市の水道事業は、昭和27年に旧金津町で創設され、旧芦原町においては昭和53年5月に簡易水道の統合という形で創設され、給水区域の拡張や簡易水道の統合を行ってきた。
- 現在の水源はすべて福井県水道用水供給事業（坂井地区水道用水供給事業）から受水（購入）している。
- 芦原温泉街の区域は芦原温泉上水道財産区が水道事業を実施している。

# あわら市の水道のしくみ

福井県が  
運営

あわら市  
が運営

水源  
(龍ヶ鼻ダム)



浄水場  
(丸岡町山久保)



県水受水場  
(3箇所)



お客様



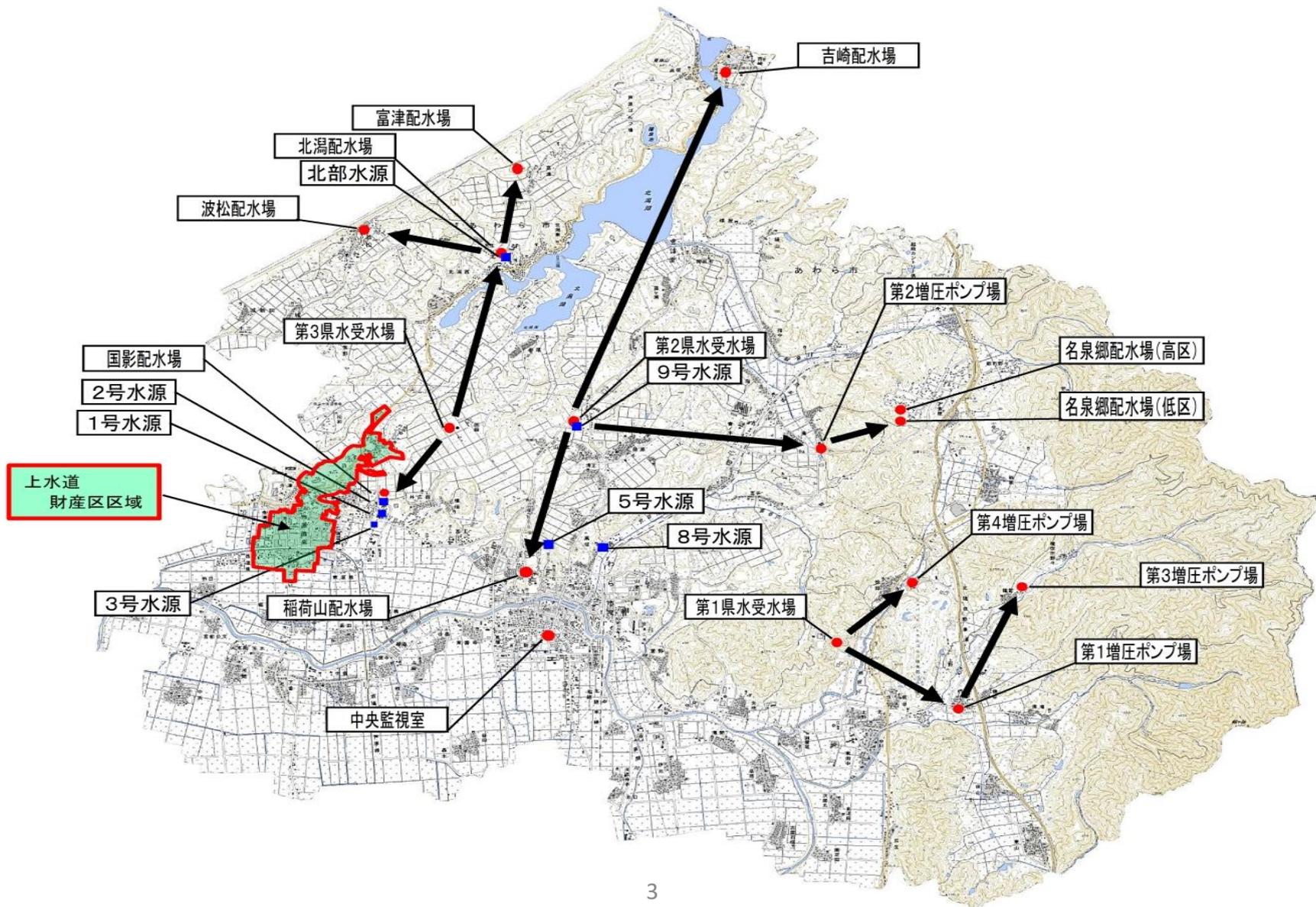
配水管・増圧ポンプ場  
(269km・4箇所)



配水池  
(7箇所)



# あわら市の水道施設位置図



# あわら市の給水状況(平成30年度)

年度末給水人口	25,267人
計画給水人口	30,800人
水道普及率	99.6%
給水栓数	10,506件
年間配水量	3,850,319 <sup>m</sup> <sub>3</sub>
年間有収水量	3,397,433 <sup>m</sup> <sub>3</sub>

## ※芦原温泉上水道財産区

年度末給水人口	2,821人
計画給水人口	2,940人
水道普及率	100.0%
給水栓数	1,483件
年間配水量	1,077,081 <sup>m</sup> <sub>3</sub>
年間有収水量	1,050,386 <sup>m</sup> <sub>3</sub>

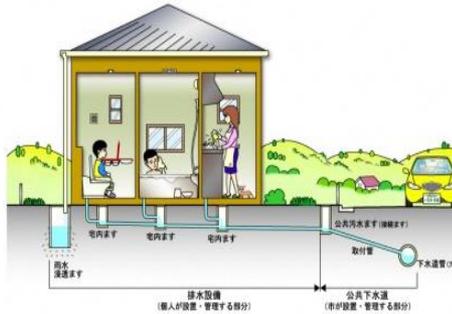
# 下水道事業の現状について

- あわら市の公共下水道事業は昭和55年に着手して以来、昭和59年7月に旧芦原町で、昭和60年10月に旧金津町で一部供用開始している。
- 上位計画である「九頭竜川流域下水道」に包含されている
- 処理区は芦原処理区と金津処理区の2処理区に分かれており、さらに芦原処理区は第1～第6処理分区、金津処理区は第1～第4処理分区に細分化されている。

# あわら市の下水道のしくみ

あわら市  
が運営

お客様



福井県が  
運営

汚水管  
(285km)



マンホールポンプ場  
(71箇所)



中継ポンプ場  
(4箇所)



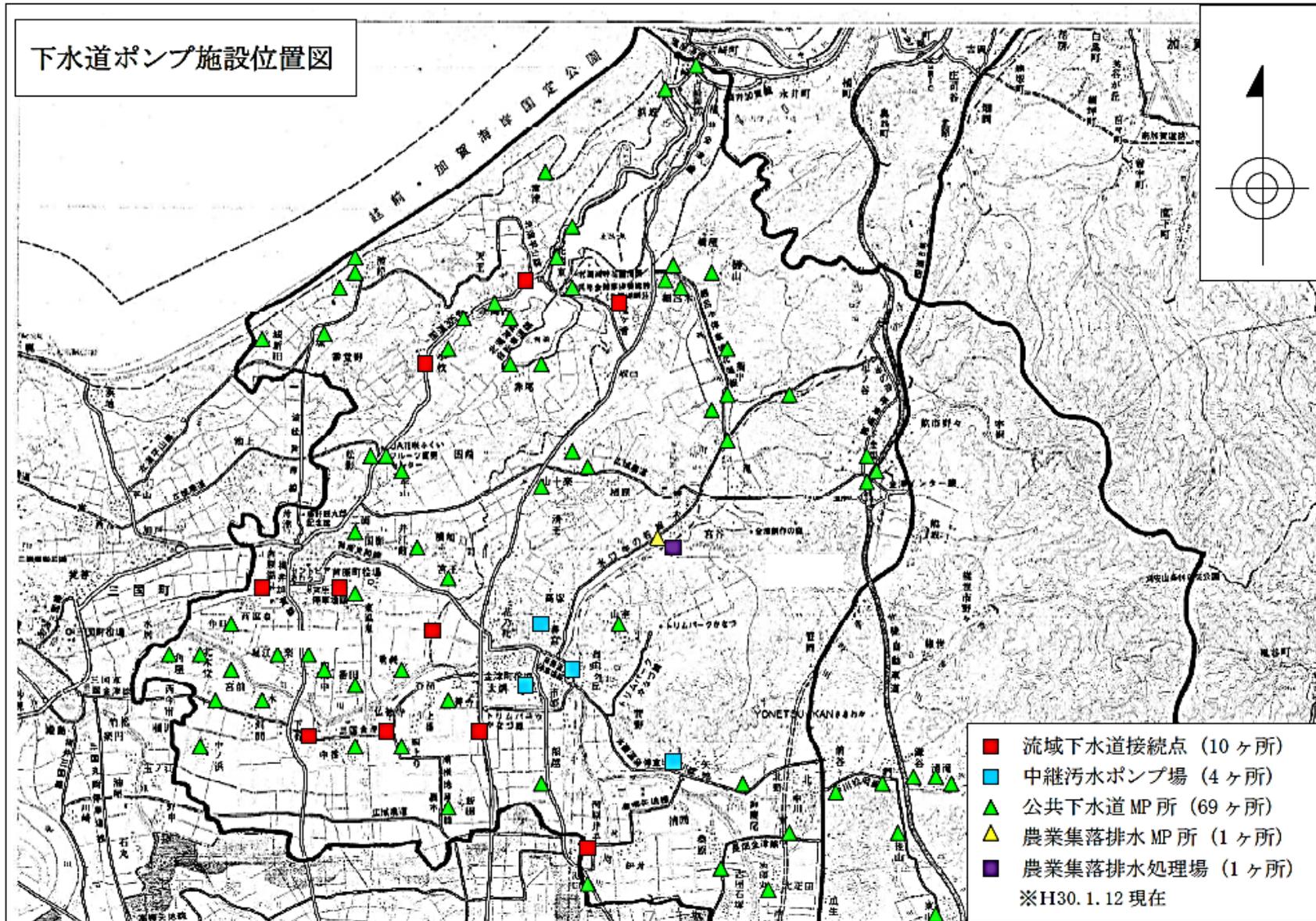
流域下水道事業接続点  
(10箇所)

九頭竜川浄化センター  
(三国町池見)



# あわら市の公共下水道施設位置図

下水道ポンプ施設位置図



# あわら市の汚水処理状況(平成30年度)

処理人口	26,868人
区域内人口	28,190人
下水道普及率	94.7%
認可処理面積	1,499ha
整備面積	1,244ha
整備率	83.0%
水洗化戸数	8,957戸
水洗化人口	24,973人
水洗化率	95.0%
年間汚水処理量	4,591,354m <sup>3</sup>
年間有収水量	3,526,922m <sup>3</sup>

# 今後のスケジュールについて

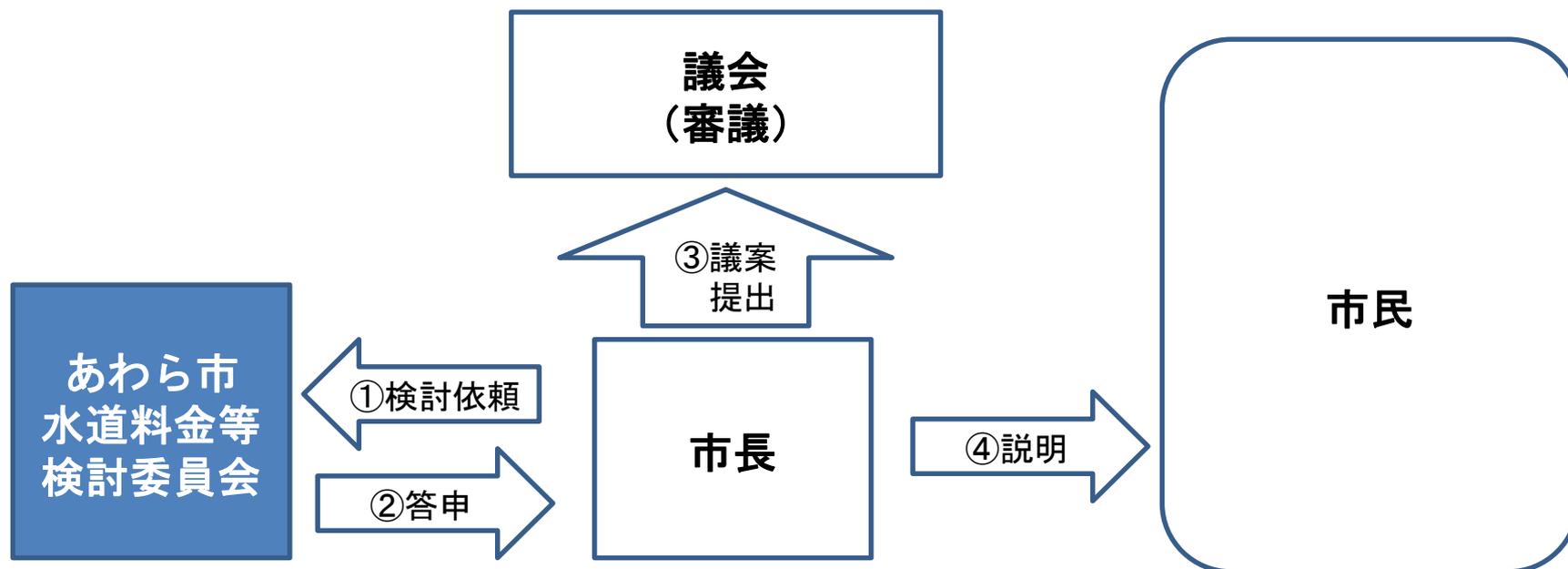
## 検討委員会設置の目的

### あわらし水道料金等検討委員会設置要綱

#### 第1条

あわらし水道事業の水道料金及びあわらし市公共下水道事業の使用料（以下「水道料金等」という。）に関する事項を調査、審議するため、あわらし水道料金等検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

## 検討委員会の位置づけ



# 今後のスケジュールについて

## 検討のスケジュール

### 第1回（6月28日）

各事業の概要説明

各事業の経営戦略の説明（中長期的な投資・財政計画など）

### 第2回（7月下旬）

料金水準の検討

将来の投資及び維持の財源を確保し、各事業を安定的に経営していくために必要となる料金の水準について検討し、方向性を決定

### 第3回（8月下旬）

料金体系の検討

検討した料金水準に基づき、料金体系を検討し、方向性を決定

### 9月議会定例会（9月中旬）

検討委員会の検討結果を議会に中間報告

### 第4回（10月下旬）

料金水準及び体系の決定

議会からの意見等を加味しながら、料金水準及び体系を決定